

---

# 椅子取りゲーム

負け組

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

椅子取りゲーム

### 【著者名】

負け組

N6579F

### 【あらすじ】

みなさんもやったことがあると思う「椅子取りゲーム」それは案外身近なところでも行われていることにお気づきでしょうか？そんなお話です。

(前書き)

お話を書き終えてから小説といつ分類でいいか迷いましたが、一応小説として投稿させていただきます。

さあ、みなさん、これから始まるゲームは誰もが一度はやったことがある簡単なゲームです。

## 「椅子取りゲーム」

ルールは簡単。

音楽がかかっている間は円形に並べられた椅子のまわりを歩きながら回り、音楽が止まつた瞬間から椅子に座つてもらい、見事椅子に座れたら次のゲームに残れます。

椅子はみなさんの人数よりも少なくしてあります。

椅子に座れなかつたらそこで終了、ゲームオーバーとなります。

人数が減ればもちろん椅子の数も減らされていきますのでお気を付  
けください。

ルールはわかりましたか？

それでは始めさせていただきます。

俺は今まで何をしてきたのだろうか…

当たり前のよう<sup>に</sup>に学校に通い、当たり前のよう<sup>に</sup>に進学し、当たり前のよう<sup>に</sup>に就職した。

まるでそれ以外に道がなかつたかの如く。  
もしかしたら道はそれしかないと<sup>い</sup>い込もうとしていたのかもしれ  
ない。

そりやあ小さい頃には人並に夢もあつたさ。

野球選手、パイロット、宇宙飛行士…  
みんなが憧れる職業に憧れてた時もあつた。

そんなものはただの夢物語でしかないとも知らずに。  
いや、夢は夢であるからこそよかつたのかもしれない。

夢を「それは夢だ」と気づいた時に夢は終わるのだから。

今までの人生で一番大きな転機。  
学生から社会人へ。

就職すれば何かが開けると思つてた。

自分の人生が大幅に変わつていくと思つてた。

学生のときにはわからなかつたけど、結局大学までの努力（勉強）  
つてのは就職する為の努力とイコールに近いものがある。

でも社会人つて何だ？

夢も希望もない就職をした俺には仕事にお金以外の価値を見出す事

が出来ない。

そのお金だつてやつてられないくらい税金で引かれてします。

仕事なんて売れるはずのない物をパフォーマンスのため売りに行くふりをする毎日。

偶然売れればいいが、売れなければ何も考えてない上司からの叱責が入る。

一言田にはあといくら売れる?

一言田にはいつまでに結果出せる?

最後には根性論。

こんなことをして何になるといつのだ。

俺は偉くなんてなりたくない。

普通の収入で普通の暮らしが出来ればいい。

こんな苦しい思いをしてこれからどんどん狭くなつていく「出世」とこう道を進んで行きたくない…

俺は仕事から逃げた。

人間不思議なもので仕事でも何でも一旦ダメだと思つと今まで普通に出来ていたことでも出来なくなつてしまつ。

頭というか精神というか、体全体で「それ」を拒否してしまうのだ。

仕事を辞めた俺には何もない。

夢もなければ希望もない。

お金もなければ趣味もない。

ただ毎日を漠然と過ごす日々。

でも、そんな毎日の中、自分でやつてみたいことが見つかった。  
自分自身で本当にやつてみたいことにチャレンジするのは人生で初めてかもしれない。

初めて胸躍る気持ちで就職活動が出来ている…

そんな気持ちも一週間ともたなかつた。  
世の中そんな甘いものではなかつた。

終わつてみれば手元に残るのは一通の封書だけ。

ああ、俺は負けたんだ。

人生の節目節目の椅子取りゲームに。

俺は何もわかつちゃいなかつた。

椅子取りゲームで一番重要なのは何だ？

もちろん最後に椅子に座れるかどうかだ。

しかしそれは結果論でしかない。

椅子に座れるかどうかを左右するのは音楽がかかっている最中。

そう、椅子の周りをみんなで回っている時だ。

その時に頭のいい奴は音楽が終わった瞬間からどう動いてどう自分の椅子を確保するか考えて歩いている。

音楽がかかっている最中、何も考えずにただ漠然と椅子の周りを歩いていた俺が座れる席なんてもないのだ。

(後書き)

ちなみに初投稿作品となります。今後は長編の話も書いていければと思っております。『感想・『意見等』』をいましたら是非お願ひいたします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6579f/>

---

椅子取りゲーム

2011年2月1日02時57分発行